

東京 11 発走 15:45

第26回青葉賞(Ⅱ)

3歳・オープン・国際(指定)・馬齢

芝2400

ヒレ 2.20.6

アームロードアイ 53 ルメール 18年11月25日

重 2.25秒台 良 2.27秒台

①2着G5.29 ②2着G5.29 ③2着G5.29 ④57.00.0 ⑤107.00.0 ⑥18.37.3 ⑦中位伸33.3 ⑧サトノダイヤ

①場所(馬場状態)月日 ②競走条件 ③距離 ④体重 ベース ⑤秒差 ⑥負担重 ⑦騎手 ⑧頭数 ⑨種別 ⑩人気

⑪着順 ⑫後半3F ⑬1着時は2着馬名

※出走順の○数字は不利を示す

→芝2400 ①5200 ②2400 ③1400 ④810 ⑤540

Main table containing race details, horse names, jockeys, and performance data for various races.

前走重賞出走馬 近5年で前走重賞組は(1)10(20)。前走重賞1~3着

馬も過去6頭いたが、すべて人気より下の着順だった。ランフォザローゼスはイトコ

二冠馬トウラメンテ(父キヤウリ)は2戦目で毎日杯2着に値。全兄は16年ダービー馬。

サトノラディウスが6着の弥生賞は時計のかかる雨馬場なら着順は参

東京芝2400m ジョッキー連対率ベスト10

- List of jockeys and their win/loss percentages for the Tokyo 2400m race.

新馬特別連勝のピースワンパディ。共にスローを直線一気に差し切ったもの。特に前走は1枠で出遅れ、四角大に持ち出すロスが多い競馬。それでも上がり33秒0は、2位を0秒8上回っていた。血統からは中長距離タイプ。アームロードアイ等桜花賞・オークスの密接な関係からも、距離はOKと判断。良血ウーリリが相手。「力接近

逃げる形にこだわる馬はいないだろう。どの馬の先導でもハイペースは考えにくい。ラストの追い比べは勝負力も必要か

考外。大跳びで東京はプラス。近5年で前走500万出走馬(44.432)。1~3着の12頭すべて前走「二」三四の500万①③着」だった。アドマイヤスコールの前走2分12秒5は時計の出る芝とはいえ、かなり速い。そのレイトリオンは次走大寒桜賞で巻き返しV。とも

①松永幹郎「ようやく期待通り」に良くって、いい勝負ができた。いい勝負を長く使え、馬つぶりもいいので、クラシックに乗せたい。

③津川助手「京成杯2着後は成長を促して随分と馬体も充実。稽古の動きに力強さが出てきた。距離延びて良さそうなた

④サトノラディウスが6着の弥生賞は時計のかかる雨馬場なら着順は参

3連複 356 5611 156 256 3511 135 235 1511 2511

東京11R 馬単 5-6 5-3 5-11 6-3 5-1 5-2 5-16

本紙の見解 魅力十分のパラディ

3連単 フォーマーション 1着 5 2着 123 3着 123 6116 (30点)

スローステップ 内 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ 外 ①⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕

逃げる形にこだわる馬はいないだろう。どの馬の先導でもハイペースは考えにくい。ラストの追い比べは勝負力も必要か

①アドマイヤスコール(好走可) ②加藤征司郎「まだ本気で走っていないが、前走は動き出して馬がその気になってからは素晴らしい伸び。この目標にしっかりと調整を進めてこられたし、少しずつ大人になって集中力が上げられてきた印象。力を発揮できれば」

③松永幹郎「ようやく期待通り」に良くって、いい勝負ができた。いい勝負を長く使え、馬つぶりもいいので、クラシックに乗せたい。

④サトノラディウスが6着の弥生賞は時計のかかる雨馬場なら着順は参

⑤津川助手「京成杯2着後は成長を促して随分と馬体も充実。稽古の動きに力強さが出てきた。距離延びて良さそうなた

⑥サトノラディウスが6着の弥生賞は時計のかかる雨馬場なら着順は参

⑦サトノラディウスが6着の弥生賞は時計のかかる雨馬場なら着順は参



